

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2004.11.6 呉市中央7-7-13 TEL21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp



京都西本願寺で行われる全国児童作品展
出展作品
中原薫乃さん書

今日したこと

- お経の練習
正信偈のご和讃
- ゲーム「チラシでパズル」「じゃんけん負けもどり」
「どびんちゃびん」

◎浄土真宗の生活信条

わが家では、朝仏さまにお参りして、おつとめの後「浄土真宗の生活信条」を皆で言います。でも、寒い時は「寒いから」暑い時は「暑いから」、気候の良いときは「忙しいから」早口になってしまいます。これでは呪文ですね。それぞれが、毎日言葉の意味をしみじみと味わうことが大切だと思います。

この生活信条の後に、子供たちの生活信条（達成課題・禁止課題）を付け足して言わせてみました。長男が前の日にウソをついて怒られたりすると、次の日の朝は「ウソをつきません」という具合です。二男や三男は「〇〇ちゃんを、けったりたいたりしません」など言わせていました。しばらくするとだんだん増えてきました「ウソをつきません、けったりたいたりしません、学校からすぐに帰ってきます、ちゃんとお飯を食べます」というふうになり、増えるばかりで、結局早口の呪文になってきました。どうも、無理矢理言わせるのがいけないのかなぁと感じました。

そこで最近、この生活信条の後に、家族全員がそれぞれの自分の生活信条を言うようにしました。「その日の生活目標」のようなことになるのでしょうか。今回はそれぞれに任せて言わせています。そのかわり何を言っても「ふんふん、よしよし」と聞くことにしました。

例えば、少し前までは運動会シーズンだったので慧（さとる・長男）は「学校から帰ってきたら境内を3周走ります」と言っていました。最近で言うと慧（さとる・長男）が「今日はマンガ『コロコロ』の発売日なので学校から帰ったらすぐに買いに行きます」というと、学（まなぶ・二男）が「こっそりついて行きます」などなど、家族が何を考えているかが分かって、なかなかいいなぁと感じています。

もちろん親も言います。時々は心を開いて「いつも、みんなをたたくけど、今日はお口



で言います」とか父親がいうと、子供たちは目を見開いてこちらを見ます。これはちょっと「おすすぬめ」です。

でも親が子どもに心を開かないとできません。「今日からこうしようね」と自分の本心を言って家族を説得せねばなりませんね。でも、お互いが心を開きあって話をする、それが家族の中で大切なことだと私は思うのです。



なんちゃって綱渡りじゃんけん

次回は11月21日（日）9時～

その次は12月4日（土）9時からです。その12月19日（日）はお休みて24日（金）報恩講仏の子の集いです。